

提出年月日： 令和元年 10 月 4 日

提案団体名： (株)三菱UFJ銀行

○提案内容

(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等  
 ※スマートシティの実現に資する技術については、別紙の(1)～(7)の技術分野への対応を記載ください

技術の概要・実績等	技術の分野
<p>スマートシティに関連するまちづくり分野では、公有地利活用やコンパクトシティ、地方創生などのテーマにおいて、官民連携の視点から自治体と民間企業(デベロッパー、ゼネコン、コンサルタント)との橋渡し役として、コンソーシアム組成からファイナンスなどの面でビジネスの支援が可能で、相応の実績を有している。</p> <p>環境エネルギー分野では、再生可能エネルギーの導入やその活用について、数多くのプロジェクトファイナンスおよびコーポレートファイナンスで融資実績を積み上げ、2016～2018年度は再エネのアレンジャーのリーグテーブルにおいて、3年連続世界ランキング1位を達成。加えて、VPP、蓄電池、水素活用、コジェネレーション設備などスマートシティの構成要素となる事業にもMUFG各社と共に、各種支援を実施した知見・実績あり。</p> <p>また、地方創生分野でも、「MUFG地方創生ファンド」という融資ファンドを創設し、地域の地方創生を支援する仕組みを構築。自治体と連携した民間投資の後押し等についても支援してきた実績を持つ。</p> <p>上記を踏まえ、MUFG各社と共に、スマートシティに関する事業について、グローバルな顧客基盤やMUFG各社のネットワークを活用したソリューション提供が可能。</p> <p>2019年8月にはサステナブルビジネス室を設立し、環境・社会課題などのサステナビリティ分野や新たな領域におけるMUFGのポータル・ハブ組織として、各種情報収集や情報発信に加え、より専門的なお客さまのビジネス支援が可能な体制を確立。</p> <p>本プラットフォームへの参加を通じて、積極的に他の参加者との情報交換を図るとともに、国内外のお客さまとのネットワーク、MUFGのソリューションを活用しながら、スマートシティの事業推進に繋がるような活動をして参りたい。</p>	<p>(7)</p>

解決する課題のイメージ	課題の分類
<p>国内外の実績・ノウハウを元に弊行が持つ情報・ネットワークを活用し、これまでスマートシティ分野に取り組む企業の環境・エネルギー分野や地方創生分野等における課題を解決するべく、コンソーシアム組成の支援、ファイナンスの提供を実施してきた。</p> <p>スマートシティに関連する新たな取り組みの実現に際しては、利用する電源や系統、地域特性を活かした産業育成など、様々な課題が想定され、これまでのノウハウを組み合わせるプロジェクト全体のコーディネーター機能を発揮しつつ、MUFG各社のソリューションによって解決を図っていききたい。</p>	<p>(イ) (オ) (ク)</p>

(3) その他

※(1)(2)について、複数ある場合は項目毎に対応の記載をお願いします。  
 ※既に構想中、実施中のプロジェクトがある場合は、別途そのプロジェクト単独での提案も可能です。

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
ソリューションプロダクツ部 サステナブルビジネス室	緒方 長谷川	03-6259-7288 03-6259-7289	<a href="mailto:yuuichi.ogata@mufg.jp">yuuichi.ogata@mufg.jp</a> <a href="mailto:yuki.6.hasegawa@mufg.jp">yuki.6.hasegawa@mufg.jp</a>